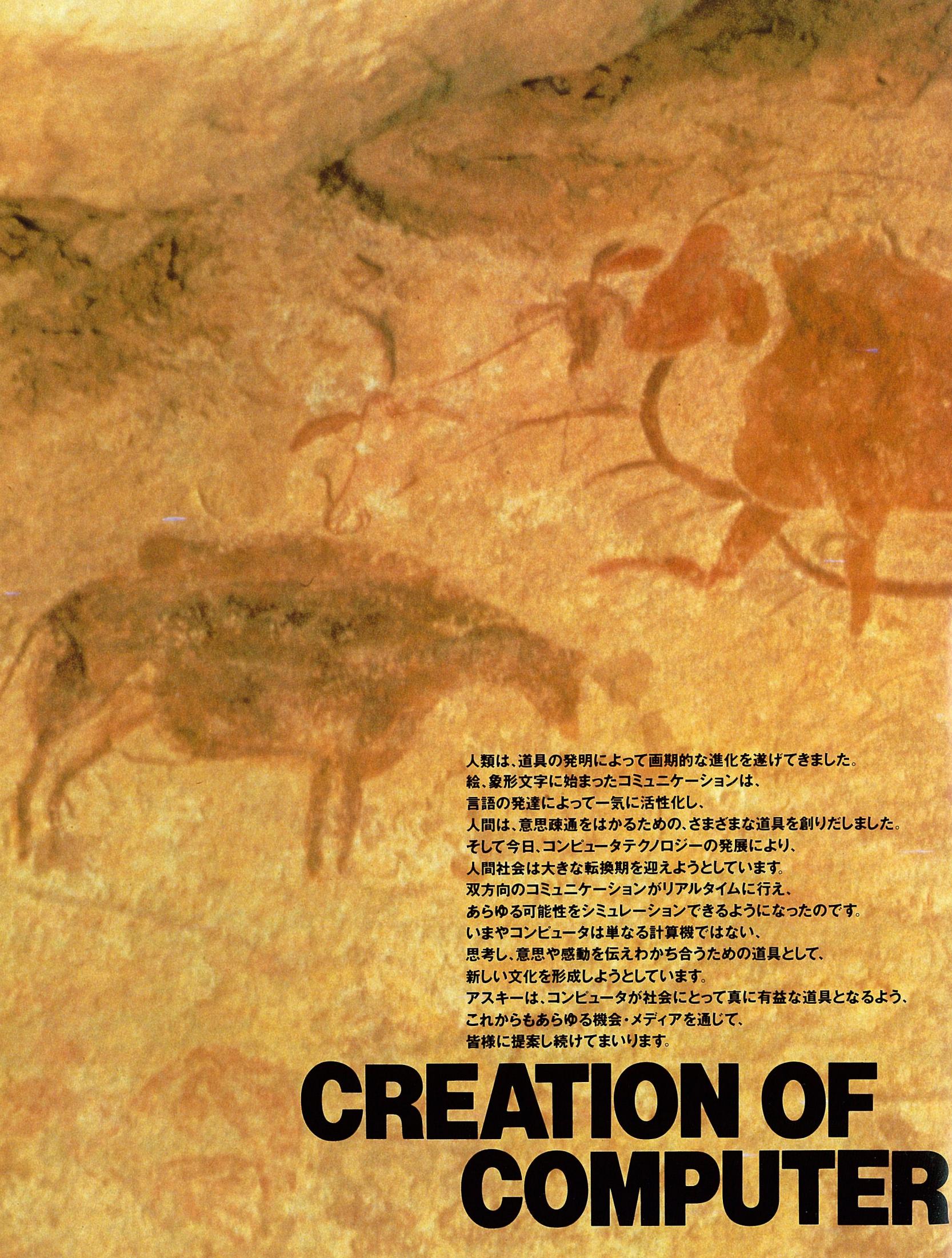




10th ANNIVERSARY

ASCII PROFILE 1987



人類は、道具の発明によって画期的な進化を遂げてきました。
絵・象形文字に始まったコミュニケーションは、
言語の発達によって一気に活性化し、
人間は、意思疎通をはかるための、さまざまな道具を創りだしました。
そして今日、コンピュータテクノロジーの発展により、
人間社会は大きな転換期を迎えようとしています。
双方向のコミュニケーションがリアルタイムに行え、
あらゆる可能性をシミュレーションできるようになったのです。
いまやコンピュータは単なる計算機ではない、
思考し、意思や感動を伝えわかつ合うための道具として、
新しい文化を形成しようとしています。
アスキーは、コンピュータが社会にとって真に有益な道具となるよう、
これからもあらゆる機会・メディアを通じて、
皆様に提案し続けてまいります。

CREATION OF COMPUTER

CONTENTS 目次

PROLOGUE, HISTORY & OUTLINE プロローグ、沿革、会社概要	2・3
PUBLISHING DIVISION 出版局	4・5
SYSTEMS DIVISION システム本部	6・7
PERSONAL SOFTWARE DIVISION パーソナルソフトウェア本部	8・9
COMMUNICATIONS DIVISION コミュニケーション本部	10・11
SALES DIVISION 営業本部	12・13
SALES, CUSTOMERS & ORGANIZATION 売り上げ高、主要取引先、組織図	14・15

CULTURE

PROLOGUE

現在、コンピュータを中心としたマイクロエレクトロニクスは、かつて類を見ないほど、急激な進歩を遂げています。コンピュータを、電話やテレビのように誰もが簡単に使える道具にしていく。アスキーは設立以来、全社をあげてこのテーマに取り組んでいます。人と人のよりよいコミュニケーションを実現する、人間が文化的な行為を行う、コンピュータはその一つの手段であり道具であると考えます。私たちは、この道具をより使いやすく有用なものにするために、さまざまなメディアを通じて、その利用技術を提案してきました。

そして創立10年目を迎えた現在、アスキーはソフトウェアの開発のみならず、トータルなシステムインテグレーターとしての役割を果たそうとしています。それは私たちの究極の目的、コンピュータを人間に近づけていくための、必然的結果といえます。

株式会社アスキーは、この目的に向かって一歩一歩努力していくことにより、これからも社会に一層貢献していきたいと考えております。

取締役社長 郡司明郎
PRESIDENT, AKIO GUNJI

PROLOGUE, HISTORY

HISTORY

- 1977年 5月 株アスキー出版設立。
6月 月刊“アスキー”創刊。
1978年10月 米国マイクロソフト社と提携。
マイクロソフト社極東代理店として
株アスキー・マイクロソフト(AMS)設立。
1980年11月 株アスキー・コンシュー・マ・プロダクツ
(ACP)設立。
1982年 5月 月刊“アスキー”的別冊として月刊
“ログイン”発行。
12月 株アスキー出版を株アスキーに
社名変更。
1983年 4月 株アスキー・コンシュー・マ・プロダクツ
をアスキーに併合。
月刊“ログイン”創刊。

OUTLINE

会社概要

資本金 18億2,100万円

設立年月日 昭和52年5月24日

社員数 370名(昭和61年9月1日現在)

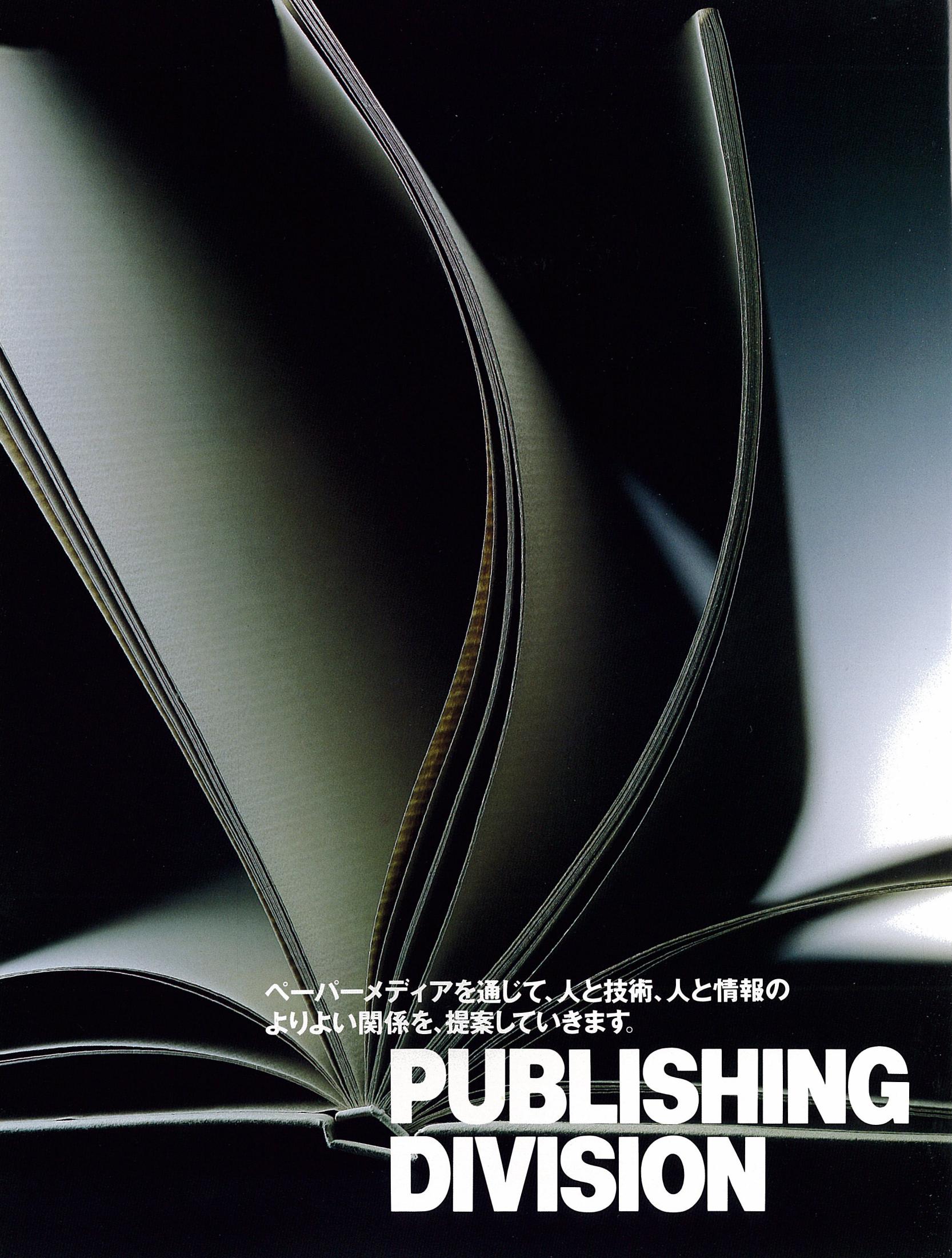
役員	代表取締役社長 郡司 明郎
	取締役副社長 西 和彦
	取締役副社長 塚本慶一郎
取締役	浜田 義史
取締役	鈴木 豊
取締役	滝田賢太郎
取締役	藤井 章生
監査役	堀越 董
監査役	西 邦大

本社	東京都港区南青山6-11-1
大阪営業所	大阪府大阪市北区梅田1-11-4
主要取引銀行	富士銀行、三和銀行、三菱銀行 安田信託銀行、住友銀行、 日本興業銀行、東京銀行



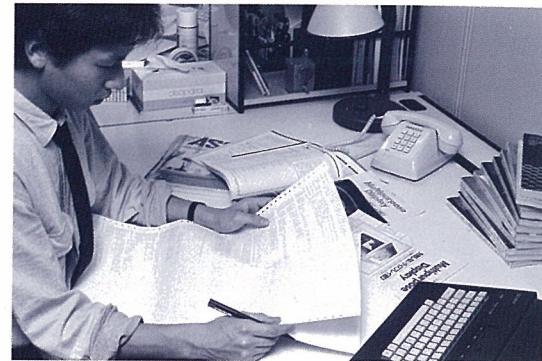
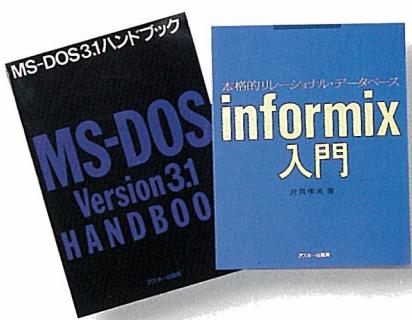
左より、副社長 塚本慶一郎、社長 郡司明郎、副社長 西和彦
From the left: Keiichiro Tsukamoto/Executive Vice President,
Akio Gunji/President,
Kazuhiko Nishi/Executive Vice President.

& OUTLINE



ペーパーメディアを通じて、人と技術、人と情報の
よりよい関係を、提案していきます。

PUBLISHING DIVISION



[出版局]

アスキー編集部 ■アスキー設立より今まで、コンピュータ関連のさまざまな情報を発信している、月刊ASCII。内外の技術動向を鋭く分析し、コンピュータテクノロジーの現状と今後の展望を的確に捉えた誌面づくりは、専門家、マニアの間でも定評があります。

ログイン編集部 ■パーソナルコンピュータのエンターテイメント性を徹底的に追求した、雑誌Login。技術志向ではない、コンピュータの楽しみ方を提案していくための、メディアです。またファミコン通信の編集も行っています。

MSXマガジン編集部 ■世界的なパソコン統一規格MSX、パーソナルコンピュータの専門誌MSXマガジン。ホームユースとしてのパソコンの可能性と活用法、最新のソフトウェアやハードウェア情報などを紹介しています。

アスペクト編集部 ■ビジネス・アスキーで発行する単行本の編集が主な業務です。情報社会におけるビジネスの知的ノウハウをご提供しています。

UNIXマガジン編集部 ■16・32ビットコンピュータの次期標準OSとして注目されているUNIXの専門書。コンピュータ技術者からアプリケーションユーザーまで、市場や技術動向を多角的に捉えた、充実した記事内容をご提供しています。

第一書籍編集部 ■数あるパーソナルコンピュータ関連の技術書、翻訳書の中で、圧倒的な支持を得ているアスキーの書籍。高度な技術力、優れた企画力を基盤に、初心者からマニア、コンピュータエンジニアまで、幅広い読者層にアピールできる、質の高い出版活動を行っています。

第三書籍編集部 ■OEM書籍・社内報・販売促進のための企画、ツールの制作などを行う部門です。ユーザーの立場にたったユニークなアイディアを、メーカーの皆様に提案しています。その他ビジネス・一般書の編集も行っています。

テクライト ■OEMを中心としたマニュアル制作部門です。OSからプログラミング言語、アプリケーションまで、その完成度の高さは、多くメーカーから絶大なる信頼を得ています。その他CAIコースウェアの制作やオンラインマニュアルの開発も行っています。

出版業務室 ■出版局で扱う製品の発注管理業務および宣伝・パブリシティ、各種セールスプロモーションの企画、運営など、出版業務をトータルにサポートしています。

出版技術部 ■将来の出版活動をになうニューメディア出版、オンライン編集やコンピュータ・レイアウト等の電子出版技術の研究などを行っています。

出版営業部 ■雑誌、書籍、ソフトウェアを全国書店を通じてお届けしています。いつでもアスキーの雑誌、書籍をお買い求めになれるよう、徹底した商品管理を行っています。

広告営業部 ■雑誌、書籍、ソフトウェア、ネットワークなどのメディアにおける広告営業・企画を担当しています。

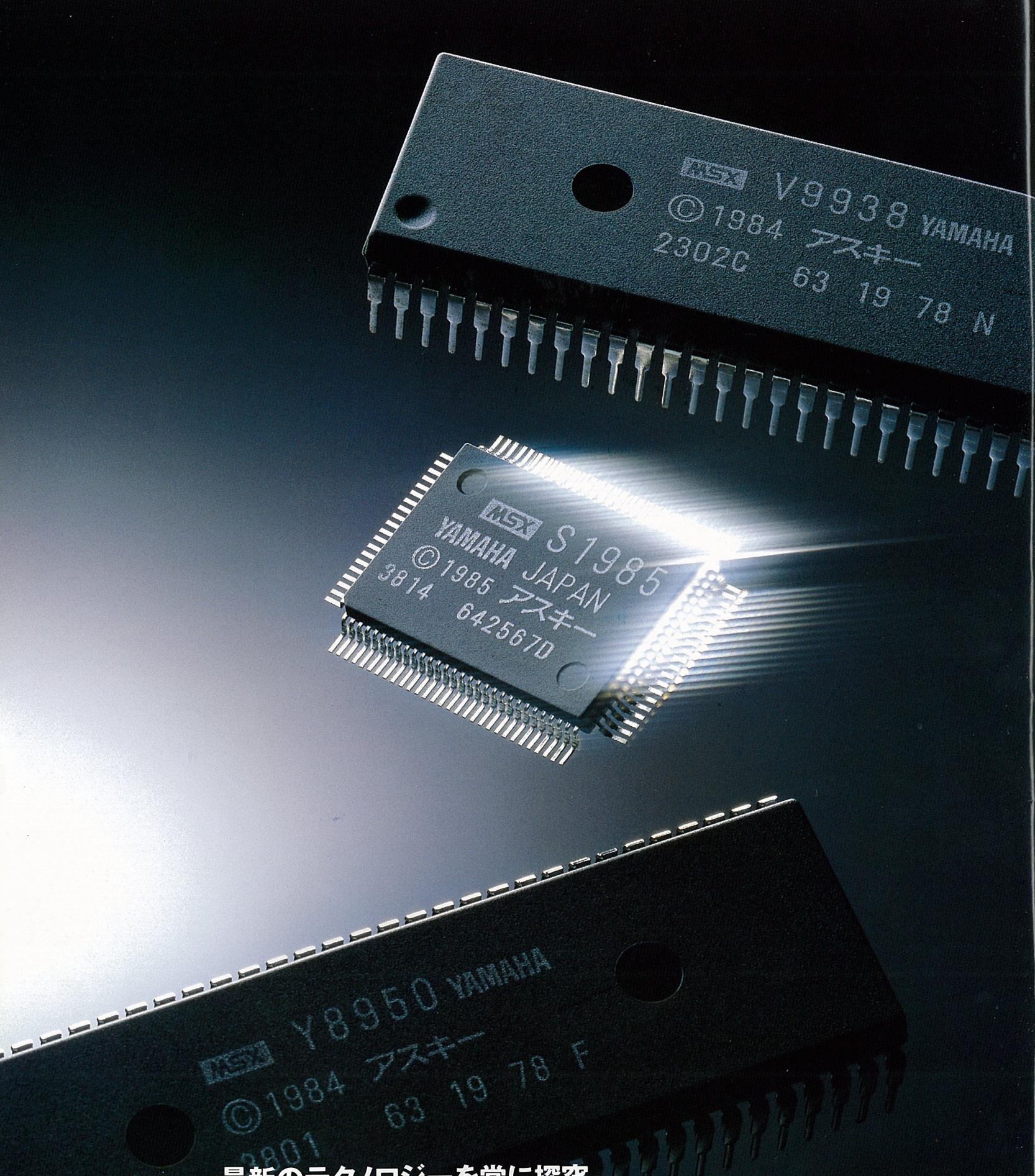
局長室 ■出版局内の秘書業務、予算編成と管理、出版局内の諸業務のチェックなどを行う、管理部門です。



コンピュータテクノロジーをさまざまな視点から捉え、その理論、活用法を広く一般に普及させていくためのアスキーの出版活動。月刊ASCII、ログイン、MSXマガジン、UNIXマガジン、ファミコン通信等の雑誌を始め、コンピュータ関連書籍、ビジネス・一般書、テクニカルマニュアルにいたるまで、幅広い分野をカバーしています。高度な技術力、優れた情報収集力をベースにしたこれらの出版物は、信頼性、先見性、分かりやすさ、いずれも高く評価され、多くの読者の支持を得ています。今後も皆様の期待に応えるべく、アンテナをはりつけ、内容の充実をはかっていきます。

先進のAV機器を装備したアスキーフォーラム。視覚メディアを通じて、パソコンの文化的側面を紹介しています。
ASCII Forum is equipped with state of the art AV hardware.
Introducing some cultural aspects of Personal Computers through visual media.





最新のテクノロジーを常に探究。
ハードとソフトが一体となった理想的なシステムをめざしています。

SYSTEMS DIVISION



【システム本部】

システム本部で扱っている製品は、主にOEMメーカーを通じてユーザーの皆様にお届けしています。いずれの製品も、標準化をめざして開発・供給されるものです。

【主要取扱い製品】

LSI■ファームウェアの需要拡大にいちはやく対応するため1984年にASIC(特定用途向けIC)を中心としたLSIマーケットに参入。米国CHIPS & TECHNOLOGY社との提携、その他日本のメーカーとの共同開発、さらにアスキーオリジナルLSIの開発など、常にソフトウェア・オリエンティッドな製品群を市場におくりだしています。

MSX■パーソナルコンピュータの標準化をめざすMSX。現在単一機種で最大の販売台数を記録し、ソフトウェアも各種アイテムが製品化されています。今後もMSX標準の維持とハードソフトのバージョンアップ、基本ソフトの開発・供給、ハードメーカー・ソフトウェアハウスの皆様へのテクニカルサポートなどを強化するとともに、将来のMSXにむけての研究・開発を推進していきます。

UNIX■UNIXの本格的普及期をむかえた今日、アスキーはUNIX先発メーカーとして、ユーザーの皆様のさまざまなニーズに対応。特に日本でも有数のUNIX技術者による漢字化の技術は、各界で高い評価を得ています。Cのクロスコンパイラ、データベースなど各種開発ツールのほか、ネットワークへの対応UNIXアプリケーションの拡充など、充実したサポートを提供しています。

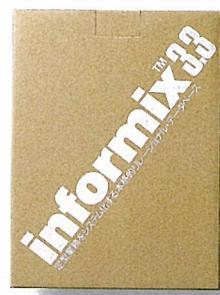
informix-SQL■メインフレームから、ハイエンドパーソナルコンピュータまで、informix-SQLはトータルなデータベース・マネージメントシステムを構築する強力なツールです。アスキー独自のVAR、法人ユーザーむけの各種アプリケーション開発にも利用されています。

ネットワーク■パーソナルコンピュータ上のLANシステム「ANASIS」、通信用マルチタスクOS「AMTOS」、さらにサン・マイクロシステムズのPC-NFSのサポートなど、ニーズ、レベルに合わせたネットワークシステムを提供しています。なお、回線エミュレータやJUST-PCに準拠したモデルも供給しています。

ニューメディア・その他のプロジェクト■データ放送やメディカル・インフォメーション・システム、ビデオテックスなどの共同開発プロジェクトにも積極的に参加。また、CD-ROMに関しては、単なるデータベース機能をもたらすのではなく、アスキーの最も得意とする基本システムをつくりあげることをテーマに、研究・開発をすすめています。



コンピュータテクノロジーの基本技術とその応用技術を追求し続けるシステム本部。LSIやMSXなどのハードウェアから、漢字UNIXをベースにした開発環境と利用環境の整備、パーソナルコンピュータを使用したネットワークシステムの構築、さらにデータ放送やCD-ROMの研究・開発など、さまざまなプロジェクトを遂行。アスキーはもとより、業界の先進技術をになう重要な役割をはたしています。世界中のあらゆる技術・市場動向を的確に分析。現在はもちろんのこと、将来にわたるコンピュータテクノロジーの可能性を見極め、人間にとって真に利用価値のあるコンピュータシステムをつくりあげることを最大の目的と考えています。



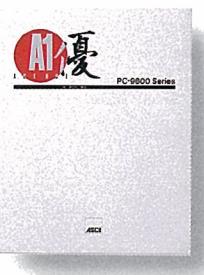
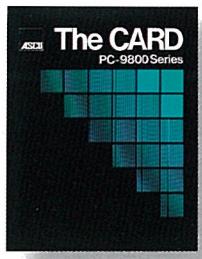
DEC社のVAXシリーズが、アスキーのソフトウェア開発とEDP化を支えています。
DEC's VAX series form the base of ASCII's software development and EDP.





すべての人々が心地よく使える、
マンマシンインターフェースに優れた製品をめざしています。

PERSONAL SOFTWARE DIVISION



PERSONAL PRODUCTIVITY SOFTWARE ——
誰もが抵抗なく使え、人間の思考、発想や感性を高め、手助けをするソフトウェア。特に個人が仕事や趣味の世界で使用するソフトウェアは、より個性的で柔軟性、簡易性などを兼ね備えた製品が要求されます。アスキーでは、このようなユーザーの方々のさまざまなニーズにお応えするために、ビジネスアプリケーション、グラフィックスソフトからゲームソフト、MSX用ソフトまで、幅広いジャンルにわたる製品群をご提供しています。ひとりでも多くの方々に、パソコンを身近な道具として活用していただけるよう、これからもよりヒューマンライクなソフトウェアを開発していきます。

[パーソナルソフトウェア本部]

ホームソフトウェア開発部 ■ MSX用ソフトウェアや在来パソコン用ゲームソフトウェア、オリジナルソフトウェア等の企画・開発と営業活動、さらにサードパーティとの版権交渉などを行っています。エンターテイメント性の最も高いゲームソフトは、作り手の感性が問われるところ。ひとりでも多くの方々に、パソコンの楽しさ、おもしろさを体験していただけるよう、たくさんの斬新なアイディアを、いちはやく製品化しています。一方、海外版権交渉とその商品化、新しい技術の評価のほか、ホームソフトウェアの全般的なマーケットリサーチも実施。ユーザーの方々のニーズを的確に捉え、製品に反映するために、常に内外の動向を鋭くキャッチしています。

アプリケーション開発部 ■ここ数年来、急激にマーケットの拡がりをみせるパーソナルソフトウェア。ハードウェアの機能向上に伴い、より使いやすい製品の開発が望まれています。アプリケーション開発部では、このようなニーズに対応するためにビジネスアプリケーション・ソフトウェア、各種ユーティリティソフトウェア、グラフィックス関連ソフトウェア、MSX用ビジネスソフト等の製品化に取り組んでいます。ワープロソフト、スプレッドシートデータベースを核とした、ローエンドからハイエンドの製品群、さらにグラフィックス関連のソフトを加えたこれらの製品の組み合わせ。用途・目的に応じて自由に使いわけられるよう、柔軟性のあるソフトウェア体系を実現しています。また、かな漢字変換システムなど、他のソフトウェアハウスとの共同開発、OEMセールスも積極的に行ってています。今後も使いやすさ、機能、価格ともにバランスのとれた製品を開発していくとともに、ソフトウェア、マニュアル等の品質管理を徹底し、よりご満足いただける製品をご提供していきます。

法人ユーザーや一般ユーザのために、講習会を実施。ソフトウェアの基礎から応用まで、レベルにあわせたカリキュラムを用意しています。
Seminar for corporate or general users. We offer all levels of courses in our curriculum.



Master Menu

PRESS FOR
BUSINESS & INVESTOR SERVICES
A Company/Industry Data & News
B Quotes & Market Averages
C Brokerage

GENERAL SERVICES
D World News, Sports & Weather
E Shopping, Travel & Mail
F Education & Entertainment

USING NEWS/RETRIEVAL
G Getting Started & What's New
H Symbols You Will Need
//NEWS
DOW JONES NEWS/RETRIEVAL WORLD REPORT
FRONT PAGE AT 3:29 A.M. TUESDAY
FROM AP

PRESS FOR
1 Sperry Terminates Merger Talks
With Rival Burroughs Corp.

C1 CU CA S1 SU 0

双向のコミュニケーションは、
アクティブで価値ある情報空間を実現するための、新しい発想法です。

**COMMUNICATIONS
DIVISION**



コンピュータと通信技術が結びついた、新しいコミュニケーションの手段「パソコン通信」。アスキーでは、このパソコン通信のメディアとしての価値にいち早く着目。1985年5月よりASCII NETの実験を開始しました。コミュニケーション本部は、このASCII NETに代表される、テレコンピューティングを広く一般に普及させていくための、さまざまな製品を開発しています。その目的は、より日常に密着した情報交換の場をつくりあげ、身近なメディアとして機能させること。パーソナルコンピュータの可能性、人と人の新しいコミュニケーションのありかたを示唆していくものです。

[コミュニケーション本部]

編成室 ■ コミュニケーション本部の予算編成・管理およびASCII NETの全体設計と企画、ディレクション、その他の複合メディア展開のプランニングなどを行っています。テレコンピューティングを広く一般に普及させるための、コーディネーターとして機能します。

NET 営業部 ■ ASCII NETの運営、カスタマーサービスと営業活動が主な業務です。会員データベースの維持、会員募集会員権の販売などを行っています。

SIG 営業部 ■ ASCII NETその他の電子メディアを核に、企業内プロジェクト、同好会、クラブなど、特定団体の活動を活性化していくための企画と運営を代行。広報誌やイベント運営、その他電子メディアをフルに活用した、新しい発想のサービスを開拓しています。

NET 技術部 ■ アスキー・ネットワーク・システムにおける通信用ソフトウェア——センター・ソフトと端末・ソフトを開発。代表的な製品C-TERMなど、一般の方が手軽に入手できるよう、ローコストで高機能なソフトウェア・パッケージを市場におくりだしています。

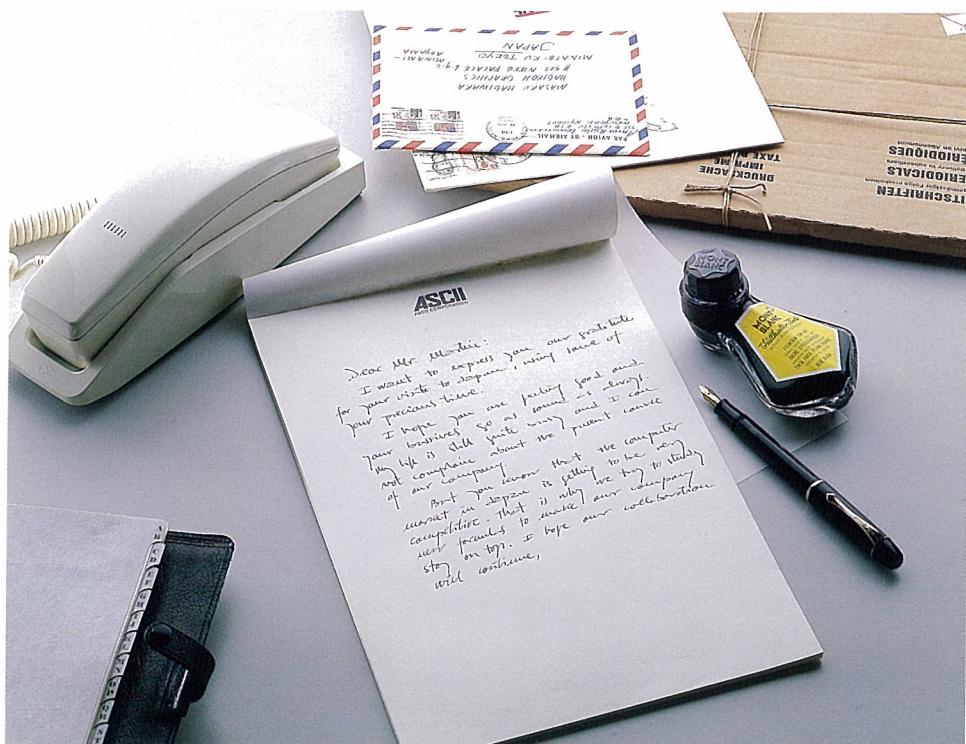
センター運用部 ■ ASCII NETは24時間フル稼動しています。このセクションはセンターハードウェア施設の保守管理を始めとする、よりきめ細かなユーザーサポートを担当。電子掲示板のオペレーション、技術的な質問の対応もこの部門が行っています。

番組制作部 ■ メディアの価値を決定づけるのは、提供する情報の中身です。ネットワーク・サービスをより充実するための番組制作部は、ASCII NETを始めとする、電子メディア上の編集業務、その他サポート全般を行っています。ASCII NETの番組編成やメニューの作成・維持・更新、その他のネットワークとの情報交換、企業単位の電子掲示板BBSの運営などが主な業務です。

NET 出版部 ■ コミュニケーションに関する出版物の制作部門。ペーパーメディアを通じて、電子メディアの可能性を社会にアピールしていきます。雑誌、書籍、NETマニュアル、販促ツールさらにソフトウェアのパッケージなどを制作しています。

市場開発部 ■ コミュニケーションのもうひとつの意味は企業(製品)と社会の交流です。市場開発部はこの考え方をもとに市場調査、マーケット開拓などの他、業界全体に対するカスタムリサーチなどを実施。SIG営業部と合わせ、調査から各種プロジェクトの運営代行、コンサルテーションまで、トータルなマーケティング・サービスをご提供しています。

パソコン通信は、電話や手紙とは全く違う新しいコミュニケーションを実現します。
Communication through personal computers offers a new world of communications; different from that of telephones or letters.





コミュニケーションの原点、人と人の対話から、
よりよい製品が生まれます。

SALES DIVISION



ソフトウェアという付加価値を、さまざまなメディアを通じて皆様にご提供する。お客様との接点、営業本部では、アスキーのすべての製品群を確実にお届けできるよう、万全のサポート体制をしています。テレフォンサポート、ユーザーサポート、取次店・販売店の皆様へのバックアップ、拡販のための各種プランニング・宣伝活動の他、講習会の実施、企業・法人のお客様へのコンサルテーションなど、活動範囲は多岐にわたります。今後もお客様のご要望にすばやく対応するとともに、皆様の貴重なご意見を製品に反映させるべく、幅広いマーケティング活動を展開していきます。

[営業本部]

営業部■<営業一般>東日本地域および全国ネットの流通業へのソフトウェア営業・企画、ソフトウェア販売店への営業とサポート業務を受け持ちはます。新規販売チャネルも積極的に開拓。より多くの方々にアスキー製品をお届けできるよう、チャネルの拡大と整備を推進しています。さらに、ご購入後のテクニカルサポート「ユーザーサポート」、ビジネスソフト講習会も常設。お客様とのダイレクトなコミュニケーションを、社内にフィードバックする、重要な役割を果たしています。<OEM営業>OEMを中心としたマニュアル・ソフトウェア全般に関する営業・企画、パッケージOEMなどを担当しています。出版局テクライツとの協力体制のもと、メーカーの皆様のご要望にも、確実かつ迅速にお応えします。<法人営業>法人ユーザーの皆様を対象としたパッケージ販売、各種コンサルテーションなどを行っています。

大阪営業所■名古屋以西のソフトウェア営業全般を担当。西日本の営業活動の拠点です。

業務部■営業本部全体の管理統括、業務システムの調整、営業本部全般にかかる計数・データ管理、通信販売やバージョンアップ、さらに製品ご購入前の各種お問い合わせの窓口、テレフォンサポートもこのセクションが担当しています。

宣伝部■アスキー全製品の宣伝業務を担当しています。媒体広告の出稿管理、原稿の制作、販売促進のための各種プロモーションの企画・実行、販促ツールの作成、コンピュータショウ出展の総合ディレクションなどの他、市場動向をすばやく的確に把握するために、各種のデータ管理をシステム化。マーケティングの強化をはかっています。

資材管理部■アスキーの全製品の部材・資材管理を行っています。完成した製品を最終的にチェックし、パッケージングしたうえで、市場に送りだしています。

広報

アスキーの企業メッセージおよび製品情報を発信していくための、各種広報活動を行っています。さらに社内報の発行など、アスキー社内のコミュニケーションを円滑にする役割をはたしています。

お客様とのマンツーマンのコミュニケーションが、日々の営業活動の原点となっています。
One on one communication with our customers forms the basis of our everyday sales activities.

資料室

リアルタイムに世界中の情報が入手できるよう、内外の各種文献・資料・その他の情報をデータベース化しています。また、新聞・雑誌などのダイジェスト版を毎日発行。アスキーの貴重な情報ソースとして機能しています。

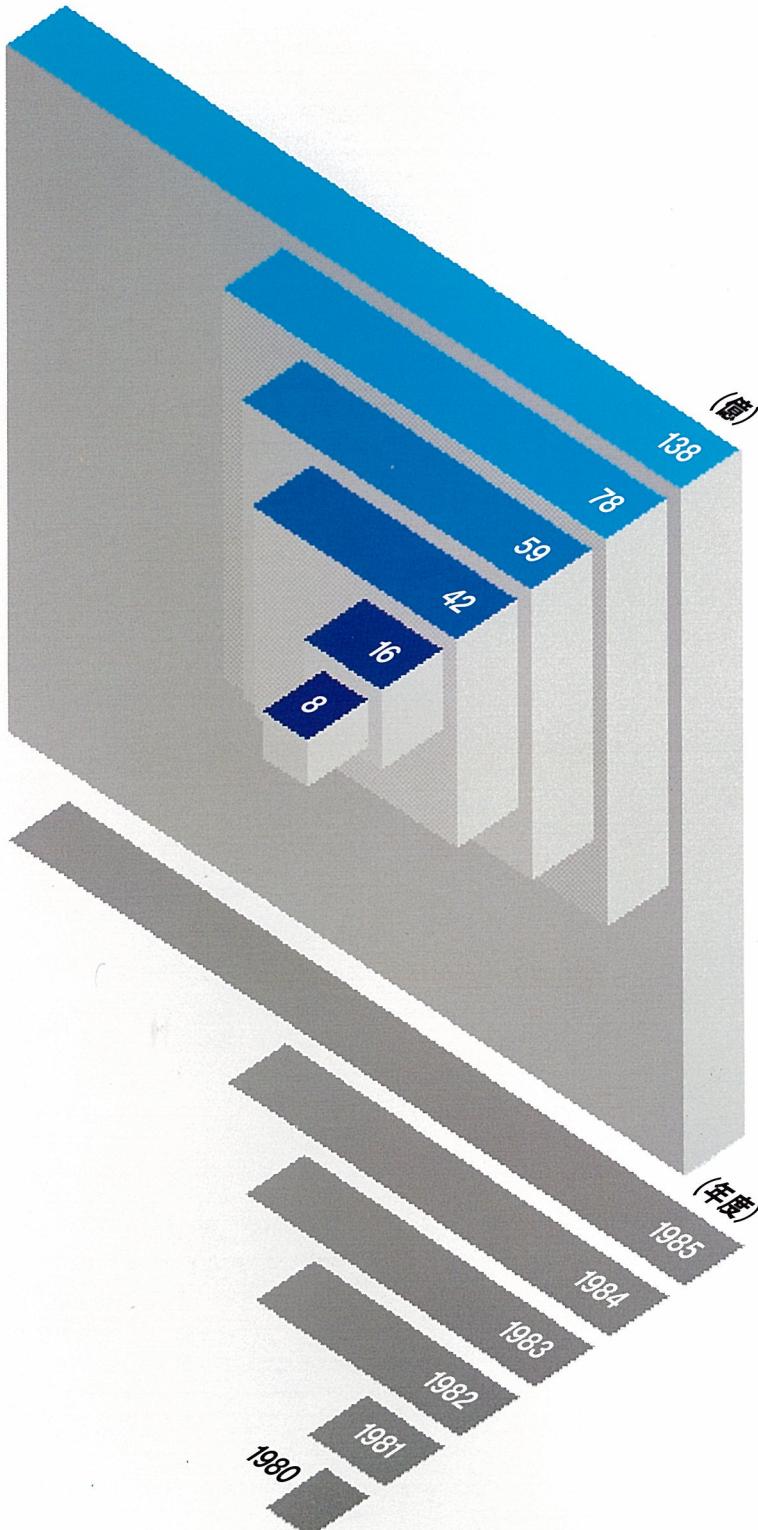


[経営管理室・財務部]

経営基盤の確立と会社運営の円滑化をすすめる、全社的な管理・統括部門です。財務、総務、法務、人事にかかるすべての業務を行っています。社会におけるアスキーの役割を明確にするとともに、情報産業に携わる企業にふさわしい組織づくりをめざし、経営の一層の充実、人材の育成、環境の整備を推進しております。

SALES

CUSTOMERS



主要取引先

アルプス電気株式会社
 セイコーエプソン株式会社
 沖電気工業株式会社
 カシオ計算機株式会社
 キヤノン株式会社
 京セラ株式会社
 三洋電機株式会社
 シャープ株式会社
 ソニー株式会社
 株式会社東芝
 日本電気株式会社
 日本アイ・ビー・エム株式会社
 日本楽器製造株式会社
 日本電信電話株式会社
 日本ビクター株式会社
 バイオニア株式会社
 株式会社日立製作所
 富士通株式会社
 株式会社富士通ゼネラル
 プラザー工業株式会社
 松下通信工業株式会社
 松下電器産業株式会社
 三菱電機株式会社
 横河北辰電機株式会社
 株式会社リコー

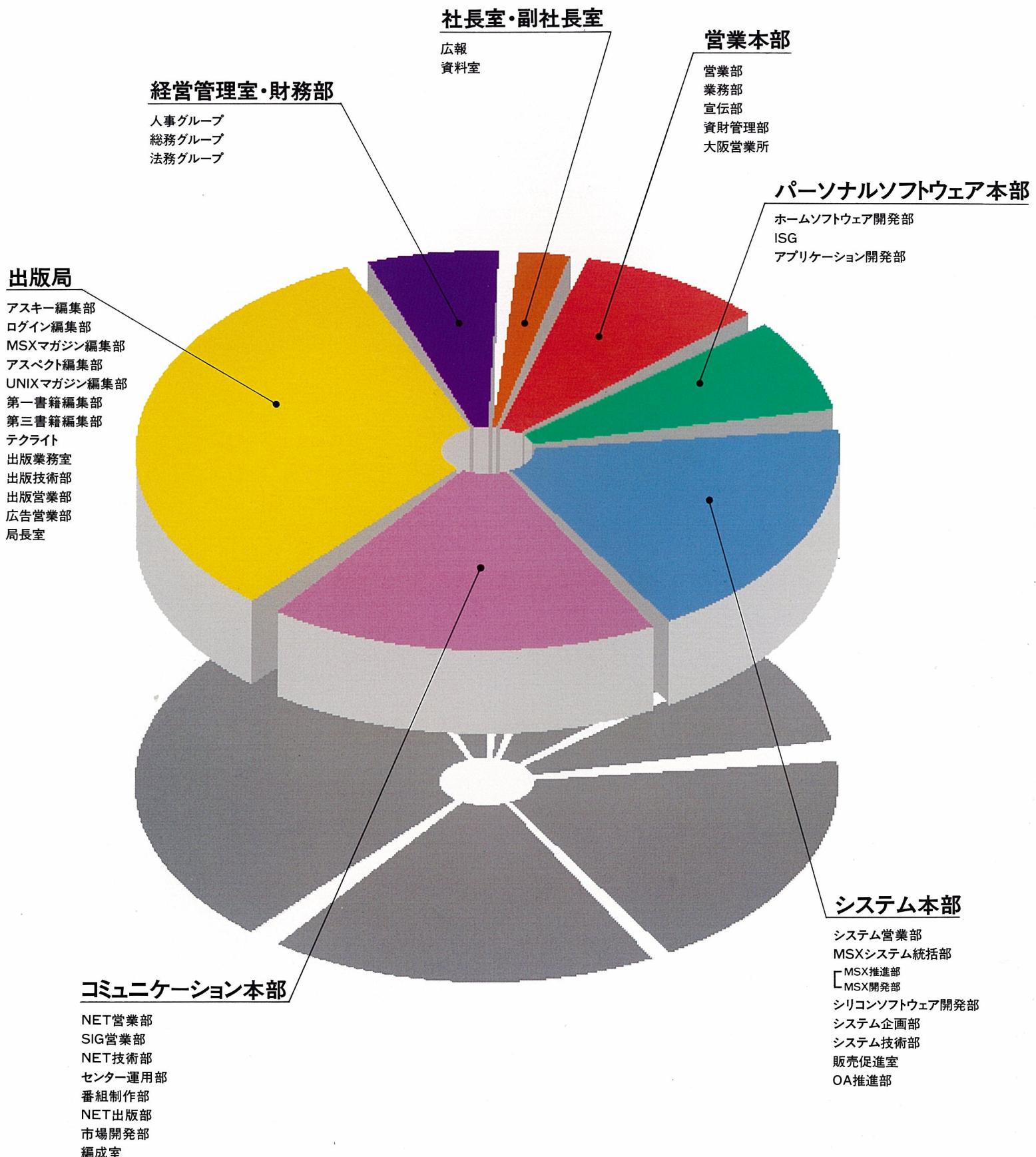
 住友商事株式会社
 三井物産株式会社
 三菱商事株式会社
 丸紅株式会社

 石丸電気株式会社
 株式会社大塚商会
 オムロンマイコンシステムズ
 コンピューターサービス株式会社
 サトームセン株式会社
 真光無線株式会社
 株式会社西友
 株式会社西武百貨店
 株式会社ソフトウイング
 株式会社ダイエー
 株式会社日本ソフトバンク
 日本マイクロコンピュータ株式会社
 マイクロソフト株式会社

(敬称略・各項アイウエオ順)

SALES & CUSTOMERS

ORGANIZATION



ORGANIZATION



- MSXマークは株アスキーの商標です。
- MS-DOSは米国マイクロソフト社の商標です。
- UNIXオペレーティングシステムはAT&Tのベル研究所が開発し、AT&Tがライセンスしています。
- informixは米国インフォミックス・ソフトウェア社の商標です。



ASCII

ASCII CORPORATION

THREE F MINAMI AOYAMA BLDG., 6-11-1 MINAMI AOYAMA,
MINATO-KU, TOKYO 107 JAPAN
TEL/03-486-7111 TLX/J28764 ASCII FAX/GII-GIII 03-406-7163